

第1号様式

継続用(1)

老人クラブ補助金交付申請書

令和 7 年 4 月 1 日

(あて先) 川 崎 市 長

訂正する場合は、訂正箇所
に二重線を引いてください。
修正液や修正テープは使用
できません。

老人クラブ名 ●●●●クラブ

会 員 数 30 名

会 長 氏 名 川崎 太郎

会 長 住 所 川崎 区 宮本町 1 番地

電 話 番 号 ●●●● - ●●●●

会員名簿上の
市内在住の方かつ60歳以上
の合計数
※60歳未満及び市外居住者の
会員は含めないでください。

令和7年度老人クラブ補助金として、次のとおり関係書類を添えて
申請します。

なお、補助金の使途に関する一切の責任は、私が負うものといたします

太枠部分が必須記入箇所です。
(全ページ共通)

補助金費目	金 額	内 訳
補 助 金	金 75,600 円	運営費（月単位の交付） 社会活動促進費（4半期ごとの交付）

第2号様式

令和7年度老人クラブ予算書(2)

〔収入の部〕

老人クラブ名 ●●●● クラブ

科 目		金 額	説 明
補助金	運 営 費	75,600 円	運営費と社会活動促進費の合計額を記入してください。
	社会活動促進費		
会 費		90,000 円	@ 3,000 円 × 30 人
そ の 他 (寄付金など)		24,400 円	市からの補助金及び会費以外で、収入があれば記入してください。 (例)臨時会費、町内会からの補助金
繰 越 金		10,000 円	
合 計		200,000 円	

出来るだけ小額になるよう
お願いします。

〔支出の部〕

事 業 区 分	金 額	説 明
健康づくり事業 ①	40,000 円	令和6年度老人クラブ事業計画書兼支出 予算内訳書(3)から転記してください。 支出予算内訳書(3)のとおり
生きがい事業 ②	90,000 円	
社会奉仕活動事業 ③	30,000 円	
事業費計 (①～③の合計)	160,000 円	補助対象経費となります。 補助金の算定根拠となります。
そ の 他	40,000 円	補助対象外経費です。
合 計	200,000 円	飲食費や景品、 市老連、区老連の会費などは 補助対象外なので、 こちらに記入してください。

※ 事業費計に応じて補助金額が決まります。

収入の部の合計金額と、
支出の部の合計金額は、
同額になるようにしてください。

第3号様式

令和7年度老人クラブ事業計画書兼支出予算内訳書(3)

老人クラブ名

●●●●クラブ

	主な活動	予算	
① 健康づくり事業	スポーツ活動	30,000	円
	健康学習等	10,000	円
	いきいき体操	0	円
	体力測定	0	円
			円
			円
		合計額を記入	円
	小計 ①	40,000	円
② 生きがい事業	レクリエーション	40,000	円
	講演会参加	20,000	円
	定例会 (飲食費等を除く)	30,000	円
			円
			円
		合計額を記入	円
	小計 ②	90,000	円
③ 社会奉仕活動事業	ボランティア	5,000	円
	地域見守り活動	10,000	円
	地域清掃	7,000	円
	次世代育成支援	8,000	円
	子育て支援	0	円
			円
			円
		合計額を記入	円
	小計 ③	30,000	円
	①～③ 今年度事業費計	160,000	円
	今年度補助金要求額	75,600	円

※「事業費計」の額をもとに要求額を選択してください。
 (要求額) 75,600円、64,800円、54,000円、48,000円、24,000円

「手引」の3ページを
御確認ください。

令和7年度老人クラブ事業計画書兼支出予算内訳書
(継続用紙) (3-2)

老人クラブ名

●●●●クラブ

[illegible]

第9号様式

令和6年度老人クラブ決算書(4)

老人クラブ名 ●●●●クラブ
会 長 名 川崎 太郎

〔収入の部〕

科 目		予算額	決算額	説 明
補助金	運 営 費 社会活動促進費	75,600 円	75,600 円	
	結成費	0 円	0 円	新規結成老人クラブのみ計上
会 費		90,000 円	90,000 円	@ 3,000 円 × 30 人
そ の 他 (寄付金等)		45,400 円	50,400 円	
繰 越 金		9,000 円	9,000 円	決算額は予算額と同額
合 計		220,000 円	(ア) 225,000 円	

〔支出の部〕

事 業 区 分	予算額	決算額	説 明
健康づくり事業 ①	50,000 円	50,000 円	令和6年度老人クラブ事業 報告書兼支出決算内訳書(5)のとおり
生きがい事業 ②	80,000 円	60,000 円	
社会奉仕活動事業 ③	60,000 円	80,000 円	
事業費計 (①～③の合計)	190,000 円	190,000 円	補助対象経費となります。 補助金の算定根拠となります。
そ の 他	30,000 円	25,000 円	飲食費や景品、 市老連、区老連の会費などは 補助対象外なので、 こちらに記入してください。
合 計	220,000 円	(イ) 215,000 円	

※(収入合計(ア))－(支出合計(イ))＝ 10,000 円

次年度予算書の繰越金となります
(0円でも記入が必要です)

この金額が繰り越されるので、
令和7年度予算書(2)の「繰越金」
に転記してください。

第10号様式

令和6年度老人クラブ事業報告書兼支出決算内訳書 (5)

老人クラブ名 ●●●● クラブ

	主な活動	予算	決算
① 健康づくり事業	スポーツ活動	30,000 円	20,000 円
	健康学習等	10,000 円	10,000 円
	いきいき体操	10,000 円	10,000 円
	体力測定	0 円	10,000 円
		円	円
		円	円
		円	円
	小計 ①	50000 円	50,000 円
② 生きがい事業	レクリエーション	30,000 円	10,000 円
	講演会参加	20,000 円	10,000 円
	定例会 (飲食費等を除く)	30,000 円	40,000 円
		円	円
		円	円
		円	円
	小計 ②	80000 円	60,000 円
③ 社会奉仕活動事業	ボランティア	10,000 円	30,000 円
	地域見守り活動	20,000 円	20,000 円
	地域清掃	0 円	0 円
	次世代育成支援	10,000 円	15,000 円
	子育て支援	20,000 円	15,000 円
		円	円
		円	円
		円	円
	小計 ③	60000 円	80,000 円
①～③ 今年度事業費計		190,000 円	190,000 円

活動内容は、出来るだけ詳しく書いてください。

定例会の額が6万円を超える場合、「会議費等が多額である理由書」が必要になります。

入りきらないものは継続用紙に記入してください。

令和6年度老人クラブ事業報告書兼支出
決算内訳書（継続用紙）（5-2）

老人クラブ名

[illegible]

市外在住・60歳未満も
含めた人数を記入

会員数合計35名、うち5名が市外在住者だった場合の記入例

老人クラブ会員名簿

会員 合計	35 名	※市外在住・60歳未満 も含めた人数を記入	老人クラブ名	●●老人クラブ
----------	------	--------------------------	--------	---------

市内在住・60歳以上の会員数 (補助金交付の根拠となる会員数)	30 名 (男 15 名・女 15 名・その他 0 名)
------------------------------------	------------------------------

番号	氏名	性別	年齢	住所
1	〇〇 〇〇	女	55	川崎市〇〇区〇〇町〇
2	〇〇 △△	男	72	川崎市〇〇区△△△△番□□号
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

性別の内訳も記入

市内在住・60歳以上の会員数を記入

原則住所を記入してください。

期日までに記載できない場合は、
固定電話でも構いません。
(川崎市内・市外居住者を判別
するため。)

【こんなケースでは??】

①2つ以上のクラブを掛け持ちしている方がいる場合

→この名簿については、どちらか片方にしぼって下さい。

②川崎市外居住者や60歳未満の会員がいる場合

→老人クラブ会員名簿に記載して差し支えありませんが、補助金の交付の根拠になる「会員数」にはならないため、「市内在住・60歳以上の会員数」の人数には含めないでください。

4月1日時点で記載してください。

令和 7 年 4 月 1 日 現在